

科目分類	看護専門科目 応用看護		開講時期	2年	後期
科目名	在宅看護学概論				
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態 講義
担当教員	家根 明子				
メールアドレス	a-yane@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	随時可能であるが、事前に予定を確認することが望ましい。		

授業目的	<p>人々の生活の基盤となる在宅において行われる看護の対象の範囲，健康レベル，生活要素，影響される因子等を理解する．また，在宅看護を必要とする背景を捉えながら，在宅看護実践の手段としての訪問看護の目的や特徴や対象者を取り巻く地域包括ケアシステムに関わる関係職種との協働について学ぶ．</p>
授業概要	<p>在宅における療養生活の特性として，対象者の健康状況の判断，および看護を実践していくのに必要な知識を学ぶ．また，療養生活を支える家族との関係や近隣住民，地域ケアサービスに携わる人々との関係にも着眼し，個々の対象，家族に応じた看護を創造していく基礎を学習する．</p>
授業計画	<p>第1回 在宅看護が必要とされる社会的背景と在宅看護の目的と特性 第2回 在宅看護の対象者の特性 第3回 在宅療養を支える家族の理解と支援 第4回 地域での療養を支える専門職とその役割 第5回 在宅看護に関わる法制度とその活用① 第6回 在宅看護に関わる法制度とその活用② 第7回 在宅療養を支える訪問看護ステーションの活動と特徴 第8回 自分らしい生き方を尊重した支援，まとめ</p>
教材 参考文献等	<p>教科書：河原加代子ほか 系統看護学講座 在宅看護論 医学書院 関連する資料はその都度配布する． 参考書：福田素生ほか 系統看護学講座 社会保障・社会福祉 医学書院 ほか適宜紹介する．</p>
成績評価 基準・方法	<p>定期試験（70%），課題レポート（30%）で評価する． *授業の2/3の出席をもって評価の対象とする．また，遅刻・早退3回で欠席1回とみなす．</p>
履修要件	特になし

留意事項 その他	本科目を修得していないと、在宅看護学Ⅰは履修できません。 <ul style="list-style-type: none">・具体的な講義内容と準備学習は、第1回目に示す。・教科書は、在宅看護学Ⅰでも使用する。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての在宅看護の実務経験を活かして、訪問看護の目的や特徴、対象を取り巻く地域包括ケアシステムに関わる関係職種との協働の必要性とあり方について講義を行う。